様式３－２

平成25年度2月補正予算公共事業新規評価調書（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　　名	道 路 課	事 業 名	道路整備交付金 （防災・安全社会資本整備交付金）
種 別	道 路	事 業 区 分	維 持 管 理 【橋梁〔長寿命化〕事業】		

事業目的	橋梁の高齢化が加速度的に進むなかで、橋梁長寿命化修繕計画に基づき適切に補修及び補強を実施し、橋梁の長寿命化及び耐震化により道路網の信頼性の確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コストの縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ の 他	

| 事務所 | 箇所番号 | 路線名 | 橋梁名 | 事業地 | | 全体額 | 完成予定年度 | 評価視点：位置付け | | | | | | | | | 評価視点：必要性・効果 | | | | | | | | | 評価視点：実施環境 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 評価 | 判断 | |
|---|---|---|---|---|---

平成25年度2月補正予算公共事業新規評価調書　（維 持 系）

本部・部名	交通政策部	課　　名	道 路 課	事 業 名	道路整備交付金 （防災・安全社会資本整備交付金）
種 別	道 路	事 業 区 分	維 持 管 理 【橋梁〔維持補修〕事業】		

事業目的	橋梁定期点検で損傷が確認された橋梁について、適切な補修を実施し、橋梁の長寿命化及び道路網の信頼性の確保を図る。

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択した。
	生活環境対策	排ガス対策機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト縮減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	そ の 他	

事務所	箇所番号	路線名	橋梁名	事業地		全体額	完成予定年度	評価視点：位置付け										評価視点：必要性・効果														評価視点：実施環境																										評価	判断
								評価指標：点検及びプログラム										評価指標：損傷の程度														評価指標：公共施設、沿道状況等																						評価指標：道路の役割								評価指標：緊急輸送路・観光ルート									
																																沿道状況による評価																																							
																																通学路の指定の有無及び今後の整備による追加指定の有無	半径1km以内の沿道施設状況による評価													迂回路の状況による評価																											
																																	教育施設（小・中学校・高校）	市役所・役場・または公共施設	病院	集会場	福祉施設	駅・公園等	商店街	バス路線	防災施設	施設数計	施設数による点数	迂回路無し	迂回距離が２ｋｍ以上追加	迂回路有り	迂回路による点数																											
								緊急点検で対策が必要と判断された箇所	前回塗装後１０年を経過した橋梁	架設後３０年を経過した橋梁	橋梁の２５ｔ荷重化プログラム該当橋梁	Ｈ８道路防災総点検要対策箇所	点数小計	交通事故多発箇所	渋滞対策プログラムの渋滞箇所	通行規制区間	点数小計	点数計	橋梁下部工が流水等のため、洗掘、傾斜、沈下または移動している	舗装ひび割れ・ポットホール	ひび割れ幅が大きい（幅５ｍｍ以上）ポットホール（局部的な穴）がある	桁や高欄等が腐蝕や車の衝突により、破断・変形している	表面錆や塗装のはがれが見られ、前回塗装より概ね７年以上経過している	腐蝕により、断面欠損がある。（腐蝕により鋼材表面が膨張しているか、腐蝕部が消失して部材断面が減少している）	剥離のみ、または損傷面積が小さい（上部工０．１ｍ２未満、下部工１ｍ２未満）	鉄筋が露出し、損傷面積が大きい（上部工０．１ｍ２以上、下部工１ｍ２以上）	ひび割れが発生している（ひび割れ幅０．２ｍｍ以上、ひび割れ間隔５０ｃｍ未満）	ひび割れが発生している	点数小計	点数計	現況交通量（日当たり）	点数小計	点数計	迂回路無し	迂回距離が２ｋｍ以上追加	迂回路有り	迂回路による点数	点数小計	主要幹線（A）	主要幹線（B）	幹線道路	補助幹線道路	その他国県道	点数小計	観光地と主要幹線道路をつぶ道路	緊急輸送道路に位置付けられている道路	点数小計	点数計			
						百万円		該当要件に○を記入					(80)	該当要件に○を記入			(20)	(100)	(60)	(30)	(60)	(30)	(60)	(30)	(60)	(60)	(60)	最大点(60)		(40)	(100)	(60)	箇所数を記入									(60)	(60)	(40)	(0)	(60)	最大点(60)	(30)	(20)	(20)	(20)	(10)	(30)	(10)	(10)	(10)	(100)		
唐津	1	山崎西相知停車場線	門衝橋	唐津市	相知町	20	H26					○	80				0	80		30		30				60		60	3,604	20	80				1	1	1	1	1			60			0	0	60					10	10			0	70	A A B	Ⅰ

判断：Ⅰ優先的に事業を実施　Ⅱ事業を実施を見合わせる　Ⅲ事業実施を見合わせる